

令和4年度事業報告書

概要

新型コロナウイルス感染症の流行は3年を経過しましたが、新しい波ほど大きくなり昨年は職員にもまたショートステイの利用者にも感染者が発生してしまいました。その中で幸いだったことは職員間、あるいは職員から利用者への感染拡大は起こらずクラスターにもならなかったことです。

しかしながらこの状況はショートステイの利用者減となって運営面でも経営面でも大きな影響を与えております。

運営的には年度を通してオンライン面会及び窓越し面会のみとし、ボランティア等の施設内立ち入り制限を行い、行事についても施設内でできるものに限定せざるを得ませんでした。そのため、ご家族に対しては写真を添えて生活の様子を手紙で知らせる、または口頭でお話をするなどできる限りの対応はしてきましたが、ご家族からはにじの郷の魅力である入居者と家族のふれあいの機会が減ってしまったことに満足できない気持ちが時々もれ聞こえました。

経営的には、ショートステイにおいて利用者に新型コロナウイルスが発生したとき及び感染した職員と利用者が接触した時は保健所から新規利用者の利用制限が掛かるなどの感染対策を取らざるを得なかったこと、併せて職員不足により利用者の受け入れ可能人数が制限されたことからショートステイ利用率が目標値を下回り、その結果新たに運営資金の借入れをするなど大変厳しい決算となりました。また新型コロナウイルス感染症対策補助金などは昨年度よりも大幅に減少し、収入減を補うには至りませんでした。

職員の確保についてはハローワークからの就労希望者は極めて少ない状態であり、また求人広告も思うようには効果がなく、結局のところ紹介会社を頼らざるを得ない状況が多くなってきており、その経費がさらに経営に負担をかけているといった悪循環に陥っています。更にまたせっかく採用した職員が長続きしないという現象が出ており早急に改善策を講じなければならない状況となっています。人材育成についてはオンライン研修を積極的に利活用し、職員の受講促進に努めました。

その他、事業実績は次のとおりです。

1 評議員会、理事会及び運営推進会議の開催状況

(1) 評議員会

定時評議員会 令和4年6月17日開催、

第2回評議員会 令和5年3月31日開催

(2) 理事会

第1回理事会 令和4年5月27日開催、